東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

Vol.43　第2092回例会　2009.9.10

今年度会長テーマ　「誠心誠意、和をもって」“事にあたろう”

■司会：熊木例会運営委員

■点鐘：枚山会長

■合唱：ロータリーソング
「我等の生業」

◆ソングリーダー：
石山会員

■お客様紹介：土方パスト会長

◆ゲスト：東村山市長　渡部尚様

◆ゲスト：津久井ＲＣ
山本芳昭様

■会長報告　枚山会長

インフルエンザ

新型インフルエンザが非常に心配されております。先の甲子園での感染原因も、いろいろ取りざたされていますが、皆さん方の会社ではどのような対応をしておりますでしょうか。私共では食品工場でございますので、万全を期して7月1日より体温計を設置いたしまして、出社した時点で測って頂いておりますが、人それぞれで体温が違うものですね。やはり社員に感染して来るのが一番怖いのです。例としては、ふさわしくない事は解かっているものの、新型インフルエンザとの戦いと聞くと映画「七人の侍」(黒澤明監督)を思い浮かべます。どんなに柵や堀をめぐらしても野武士の侵入を完全に食い止める事は出来ない。村に入る野武士を一人ずつに絞って退治する。新型インフルエンザも水際検疫では防げなかった。今後は爆発的感染や重傷者を防ぐしかない。政権移行中でも対策は待ったなしです。民主党は3日、厚生労働省から説明を聞いたという。三党連立協議でも取り上げ、緊急の政治課題として急いで取り組んで欲しいものです。今月下旬から来月上旬のピーク時には1日76万人が発症、4万6400人が入院するという流行シナリオがあります。米国も今秋から冬にかけて国民の3～5割が感染、180万人が入院、9万人が死亡するとの試算をしています。オバマ政権は対策予算を増額、国民に基本励行を呼び掛けております。うがい、手洗いも大事だが、感染力の強いウィルスの前には竹槍の様で心もとない。米国の有名な病院メイヨウー・クリニックのインフル対

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／中丸　繁男　野村　高章
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

策の一つに「新鮮な果物と野菜、全粒穀物などバランス有る食事が最高」である事を教えています。貧しい食生活と睡眠不足が免疫力を落とす、そして感染を受けやすくする。食こそウィルスと戦う「七人の侍」である。大変怖い事です。尚、今朝の報道によりますと、厚生労働省は9日、学校や医療施設などで発生した、新型インフルエンザの集団感染(2以上)の発生件数が8月31～9月6日の1週間で、2318件に上がったと発表。前週の発生件数は1402件で1.65倍となり、「学校の新学期が本格的に始まった事で、感染が拡大したことなどが影響した」としています。皆さんで気を付けましょう。

■幹事報告　高橋幹事

■青少年交換委員会：
・第4回地区青少年交換委員会/学校懇談会の案内
10月7日(水)　15:00～
於　ハイアットリージェンシー東京

・第44期派遣学生(2008年夏派遣)の帰国報告会及び来日学生との合同歓迎会の案内について
9月26日(土)　14:30～登録
15:00～第一部
於　国立オリンピック記念青少年総合センター

■ガバナー事務所：
(財)ロータリー米山記念奨学会より
「米山奨学生への10月分3月分奨学金支給について」のお願いについて
9月奨学生レポート(締切 9月末)
2月奨学生レポート(締切 2月末)
上記レポートの提出が無い場合は奨学金を支給しないこと

■対人地雷特別委員会：
2009-10年度第1回対人地雷特別委員会の案内について
2009年9月25日(金)　15:00～16:30
於　ガバナー事務所

■米山奨学委員会：
(在京)第2回米山奨学生カウンセラーセミナーの案内
2009年10月7日(水)　15:00～
於　上野精養軒

■社会を明るくする運動：
青少年健全育成協議会の開催の案内
2009年9月26日(土)　14:00～
於　東村山市民センター

■例会変更：
東京秋川ＲＣ　9月17日(木)→17:00点鐘

■桜華女学院：
第51回桜華祭の案内の受理
文化祭　2009年9月26日(土)、27日(日)
午前11時～
体育祭　2009年10月3日(土)
於　桜華女学院校内、グラウンド

■国際奉仕委員会：
(武蔵野分区･多摩分区合同)世界社会奉仕セミナーの案内
2009年10月15日(木)　13:30～
於　吉祥寺第一ホテル

■回覧：
「友」インターネット速報　No.397

■東京武蔵村山ＲＣ：
第3回多摩分区連絡会の案内の受理
2009年10月7日(水)　16:00～
於　パレスホテル立川

■出席報告　相羽例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
38	30	1	4	88.24

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：5名

■前々回出席率メークアップ修正後：85.29%

■前々会メークアップ者：
赤木会員：理事会
樺澤会員：東京西北ＲＣ
戸澤会員：東大和ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　金子クラブ管理委員

■ご結婚祝月：
戸澤会員

■会員誕生祝月：
中丸会員、目時会員

◆目時会員、神﨑会員、戸澤会員：
竹田さん当選おめでとうございます。
◆枕山会長、高橋幹事、野澤会員、二ノ宮会員
山本会員、小町会員：
市長さん、本日卓話ありがとうございます。
◆中丸会員、野村会員：
写真ありがとうございます。

本日のニコニコ合計：　31,000円
累　　計　　：396,000円

■卓話

■卓話者紹介：
飯田プログラム委員長

■卓話者：
東村山市長　渡部尚様

改めまして皆さん今日は。今日は大変素晴らしい秋晴れと成りまして、市内の経済人が社会奉仕のために集う歴史と伝統のある東村山ロータリークラブにお招きを頂きまして、卓話の機会を与えていただきましたこと、心から感謝している次第でございます。また常日頃より枕山会長・高橋幹事を始め会員の皆様には市政を通じて大所高所の立場から常日頃より大変お世話になっています。重ねて感謝申し上げるところでございます。先月24日に細淵前市長さんが、本当にご苦労なさって心血を注がれた東村山駅西口再開発事業の竣工記念式典をさせていただきました。これは市が建てたのではなく、組合が建てた再開発ビルの2階にある市のコンベンションホールにて式典をいたしまして、改めてロータリークラブに感謝状をお渡ししました。開発完成の暁には、駅前ロータリーに時計塔でも建ててくださいということで、多額のご厚志を頂いたところでございます。その後、市内に運動施設を誘致している西東京市にあるシチズン時計より、西口駅前に時計を寄贈したいという話があり、ロータリーからの資金でなく、シチズンさんより寄贈頂いた時計塔を建てました。ロータリーさんから頂いたお金につきましては、平成13年に再開発の準備組合ができて、その後何年にもわたって多くの方がご苦労された再開発の経過をきちんと継承していこうと事で、再開発組合が主体となって、記念誌を発行しようと言うことになり、そちらにロータリーからのご厚志を使わせていただくことに成りました。

ロータリークラブよりお招きを頂き、お話をするのはこれで２度目でございます。最初は市長に就任直後の時期で、これからどのように市政を進めるのかというお話をしました。平成19年5月1日に市長に就任し、2年半経ちまして、この間どういう取り組みをしてきたのかという事とともに、これからより具体的になってきました東村山の都市計画(街づくり)についてお話をさせていただきたいと考えております。

言うまでもなく皆様ご存じのことと思いますが歴代の市長さん・議員の皆さん等先人の皆様が大変苦労していることで、東村山市の財政基盤が脆弱であるという事です。この市内17平方キロの敷地内に、所謂大手の企業や工場があまり無い。その代わりに、国や東京都の言わば税金の取れない施設が非常に多く、財政面だけで考えると非常に厳しい状況です。一方で公共施設が多い中で、全生園の緑があったりということで、緑豊かな住みやすい環境にあることに間違いない。しかし、街を運営して行くには会社の経営と同じだと思いますが、やはり一定の収入がないと市民の皆様のニーズにお応えできないのが自治体です。歴代の各市長さんは大変な努力をされてきた訳で、特に細淵前市長においては、行政改革を進めて、行政のもたれ合いを排除して、少しでも市民のために税金を還元するという取り組みをなさっておられました。当時私は議員でしたが本当にご苦労なさっているなと感じていました。

三多摩の中でも当市は、昭和30年代から40年代にかけて人口が急増した事により、学校作りに追われまして、街の骨格となるような駅前広場の整備あるいは、幹線道路の整備という所謂都市基盤整備が、周辺都市に比べて非常に遅れており、基盤整備を進めることが、街の価値や魅力を上げる上で欠かせない事です。そんなことから小牧元市長の時に東村山駅東口のロータリー・久米川駅南口のロータリーの建設をされましたが、その後こういった大型事業が進められていなかった。細淵前市長の時に、かつて東村山で一番賑わいのあった東村山駅西口の活性化のためにもやはり広場を作っていこうという事と、また久米川駅北口開発・そして幹線道路を通していこうということで進んでこられたわけです。その後私が引き継がせていただいている基本的な考えは前市長等と同じ立場です。
やはり行政改革を進めながら行政の無駄を出来るだけ省いて、そこで浮いたお金を何とか市民の為になるような事に使わせていただきたい。その中でもとりわけ遅れている都市基盤整備をキッチリやって、街の中で少しでも税収が上がるような構造にしていきたいという思い出で進めて参りました。本日ここにお見えになっている熊木議員や北久保議員そして、市議会の諸先生方のご指導を頂きながら今頑張らせていただいている状況です。

そこで、本日皆様のお手元に資料を3枚ほど配らせていただいておりますので、ご覧頂きたいと思います。白黒コピーの表紙でバスの絵が描いてある「CHIKAI」ですが、東京電力さんが発行しています会社の広報誌です。年に3・4回でているのでしょうか、東京電力さんのエリア内市町村にある首長を紹介するコーナーあり、今年の夏に発行された中で、東村山市を紹介してくれました。この中に今まで私が、どのように取り組んでき

たかをわかりやすく説明してありますので是非ご覧ください。
東京電力が注目しているのは、西口再開発と東京で一番最初に行われました本町都営住宅の北ブロックの武蔵野アイタウンと呼ばれている本町地区プロジェクトです。東村山市が、単なるベッドタウンから、魅力ある住宅都市へと変貌を遂げてゆく一つの象徴的な事業として、このふたつを取り上げてもらいました。
先日北久保議員から代表質問で、今の街づくりでどの位の税収が上がったのか、という質問がありました。まだ試算の段階ですが、西口再開発事業で、住民税・固定資産税等で５年間の軽減措置により低くなってしまうのですが、西口再開発事業で約6,000万円程度の税収効果を試算しています。これから5年後に家屋の評価額は下がりますが、軽減措置が終了し、おそらく8,000万から1億円ほどの税収効果を見込んでいる。そして、武蔵野アイタウンは東京都の事業ですが、細淵前市長以下私も含めて東京都にお願いに上がり、石原都知事に率直に、これ以上都営住宅は必要では無く、所得の高い人達に住んでもらえるような街づくりを進めたいということを申し上げ、アイタウン計画が出来ました。そして、こちらも約6,000万円程の税収効果を見込んだ試算をしています。安いとはいえ3,000万円超の戸建住宅を買える人達が一遍に300戸位増えたわけですからそれなりの税収効果が上がっています。こちらも5年経過後には、経過措置が無くなった段階で、1億円前後の税収になる。
細淵前市長時代から引き継がれた、「未来に向けた街作り」に少しづつ芽が出て形になり果実になるという有り難い事になっているので、このまま旨く継続できたら良いと思っています。
それと、もう1つ取り組んできたことが、東村山市が持っている良さを大事にしたい。それを更に発展させて、次の世代に引き継ぎたい。その1つが八国山に象徴される豊かな自然です。自然を出来るだけ大事にしながら、出来れば大きな観光資源に育てていきたいと計画しています。特に東村山駅西口の西部地区には、トトロの森を始めとする自然と農地があり、これからは観光に力を入れていこうという議会からの意見があります。
東村山東口から伸びる3・4・27号線がスポーツセンターの手前で止まっていますが、この道路の周辺部は最近非常に開発が進んでいて、新たな街並が、形成されようとしています。こちらは、さほど税収効果は無いものの今後が楽しみであります。
今回建てて頂いた西口再開発ビルの2階に、産業観光案内コーナーを設け、市内の物産展示と観光案内をしています。まだ市民の皆さんへのPRが足りていないので、1日に200人程度の方がお見えになっていますが、市内や市外から電車に乗ってきたお客さんに、楽しんでもらう仕掛けを考えています。
平成20年度行革効果額集計表を見ていただきたい。東村山市は財政基盤が非常に脆弱なのに加えて、今回の選挙で話題として取り上げられた「小泉構造改革」で、国から地方へいろんな仕事が降りてきた反面国と地方の財源の見直しがあり平成19年度から所得税の一部が地方税に組み替えられていて所得税が若干減っていて、同額が市・都民税が上がっている。これによって、地方自治体はこれで良くなると思っていたが、毎年15～16億円程減ってしまった。東村山は国から地方交付税をもらって何とかやりくりをしてきたが、地方交付税がピーク時の約半分以下になってしまっていて、当市は15～16億円程収入が減ってしまった。夕張市は、観光事業に過剰な税金を投入しすぎて失敗した経緯がある。これに伴って国は地方公共団体の健全な財政に関する法律を制定した。これによって、かなり縛りがきつくなって財政市況を判断して基準以下のところには財政破綻団体と見なして、国が指導する事になった。それが私が市長になった年から始まりました。このことによって、東村山市は早期財政再建団体に転落しそうになった。そのことを踏まえて20年度は、大鉈を振ることになった。その内容がこの資料であります。歳出抑制として事業の見直しで、199,411千円の効果を生み出した。その他として、職員定数の適正化等で760,720千円とし、職員835名を50名削減し現在の数値になった。これは定年者の補充をしない事で達成。また職員の給与表を今年の1月から東京都と同一基準とした。特に地域手当を圧縮した。結果として、歳出抑制が960,131千円となる。そして、歳入対策として、81,390千円を実施して、合計1,041,521千円の単年度効果額となる。このことによって、何とか切り抜けました。
東村山市都市計画道路網図をご覧ください。今回は東村山西口・久米川駅北口の整備で久米川駅北口広場は来年3月には完成予定。市がこれから取り組もうとしている事は、東村山駅東口から伸びる道路がスポーツセンターの手前で止まっています。ある意味で東村山のシンボルロードと言われていますこの道路を秋津方面迄延開通させる予定。
この計画によって、東村山駅東口から新秋津駅前迄繋がることになりますので、かなりポテンシャルが上がると思います。また、久米川駅北口3・4・26号線と東久留米方面と繋げるべく3・4・5号線の事業を東京都との事業として着手した。その他東京都の事業として、新所沢街道の久留米の市場から青葉町の医療センターの中を通って久米川町に至って府中街道に繋がるように東京都が事業を開始している。また、3・3・8号線の府中街道で野口橋交差点以北について早急にやって欲しい旨言い続けて来て、NTTのところの踏切で、西武新宿線と府中街道が交差するところが、府中街道渋滞の大きな原因でするよって、主として線路を上げて所謂高架とする件で単独では効果がないとのことで高架とする5カ所の連続立体交差の踏切工事が実施される予定。
但し若干心配なのは今回政権交代があり、民主党さんはどちらかというとハード事業よりも福祉・子育て事業に税金を使うべきではないかという主張であって、すべての公共事業がダメと言っている訳ではなく、大型事業はこれ以上必要ないというご意見でございます。
ただ都市部における大都市近郊の道路については、やはりまだまだ整備をしていく必要があると我々は考えています。今まで説明しました幹線道路の骨格ができあがりますと、東村山の中で様々な人や物流が良い形で循環していくと考えます。大変駆け足でお話しさせて頂きましたが、東村山市は先人の皆様の大変な努力で、今後住宅都市として、住む人々の人生が豊かに成るような、そして、こちらでビジネスをする方達のご商売が発展するような元気のある東村山を作っていきたいと考えています。地域の経済人の集まりでありますロータリーさんの様々なお知恵を頂いて、頑張っていきたいと思いますので、引き続きご指導ご協力を頂けますようお願い申し上げ、甚だ纏まらない卓話で恐縮でございますが、ご静聴頂きましたこと心から感謝して、終わらせて頂きたいと思います。どうも有難う御座いました。

■点鐘：枚山会長